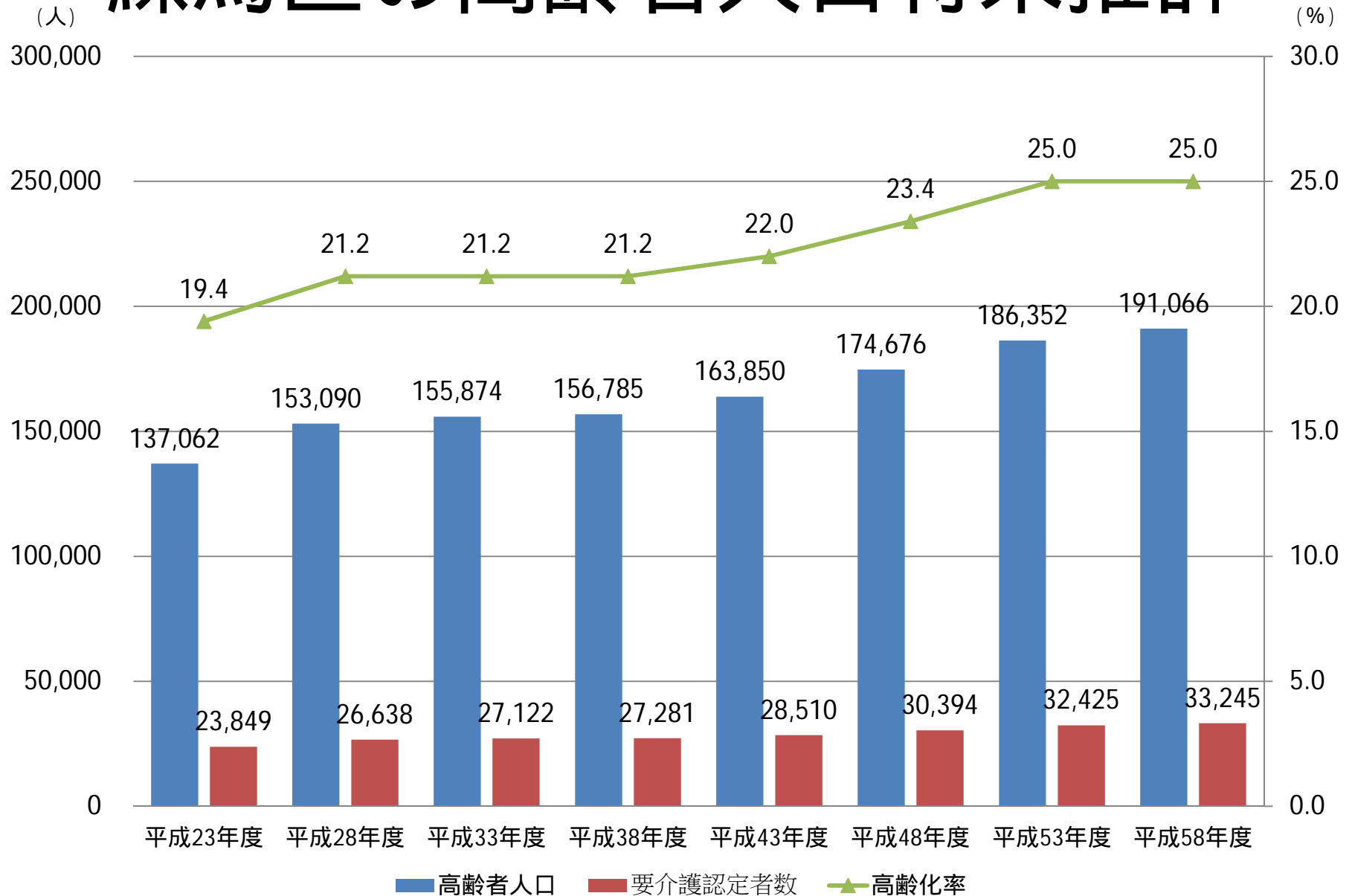


平成25年10月24日

練馬区地域包括支援センターの 現状と課題

平成24年度実績報告
支所アンケートより

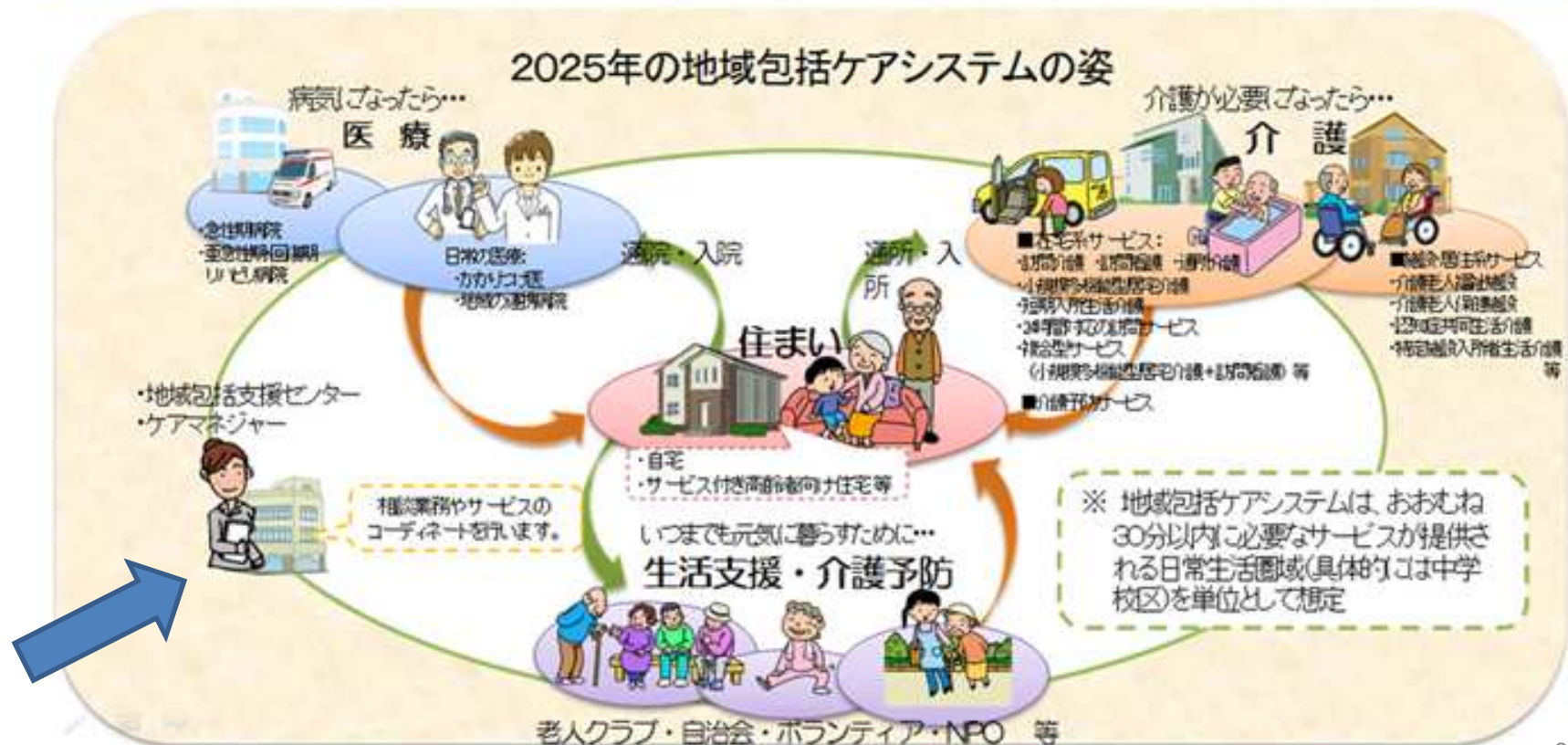
練馬区の高齢者人口将来推計



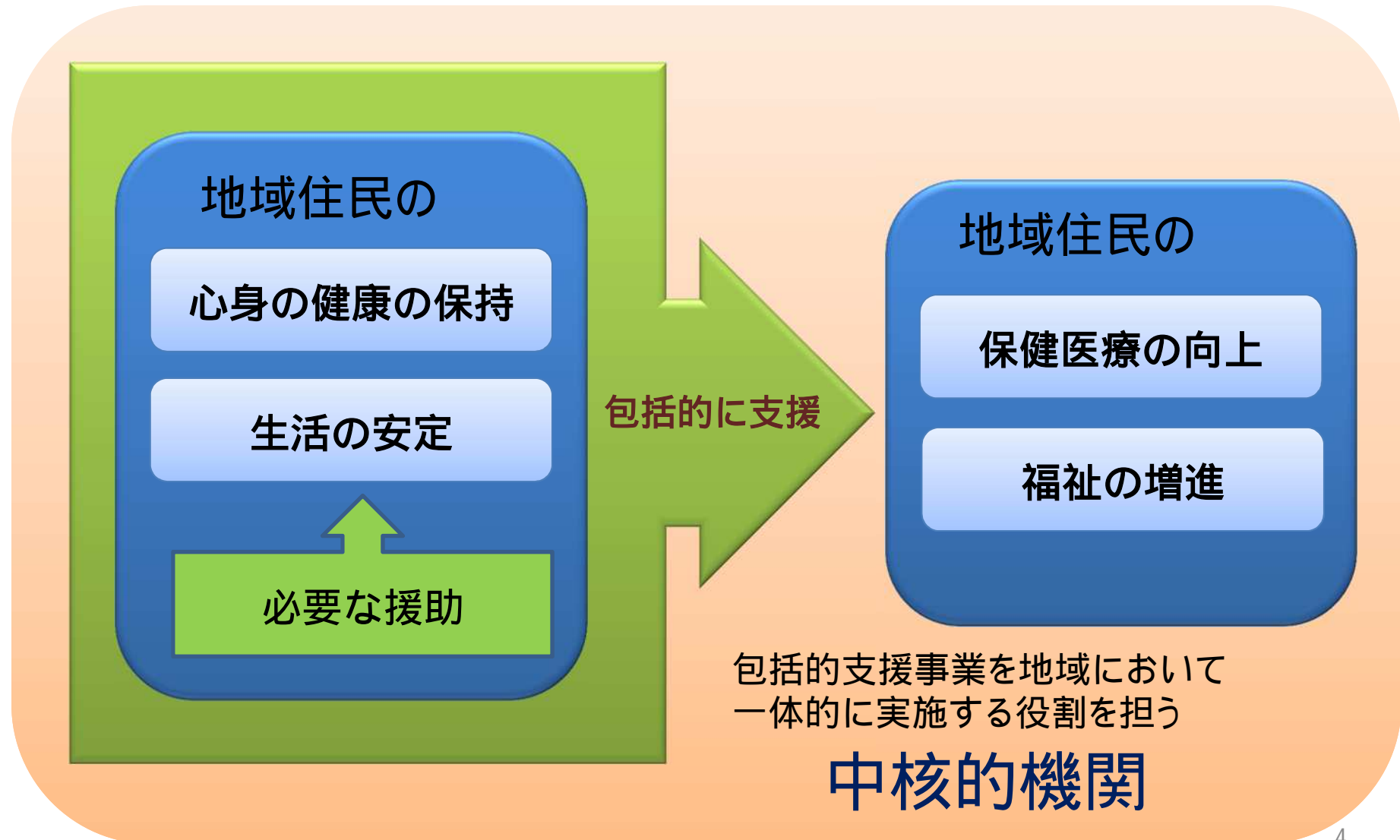
出典：練馬区地域医療計画

地域包括ケアシステム

- **住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの実現により、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるようになります。**
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差を生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や、都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



地域包括支援センターとは



地域包括支援センターの事業内容

包括的支援事業

- ・介護予防マネジメント業務
- ・総合相談支援業務
- ・権利擁護業務
- ・包括的・継続的ケアマネジメント業務

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

【本所】地域ケア会議の開催、【支所】ミニ地域ケア会議の開催

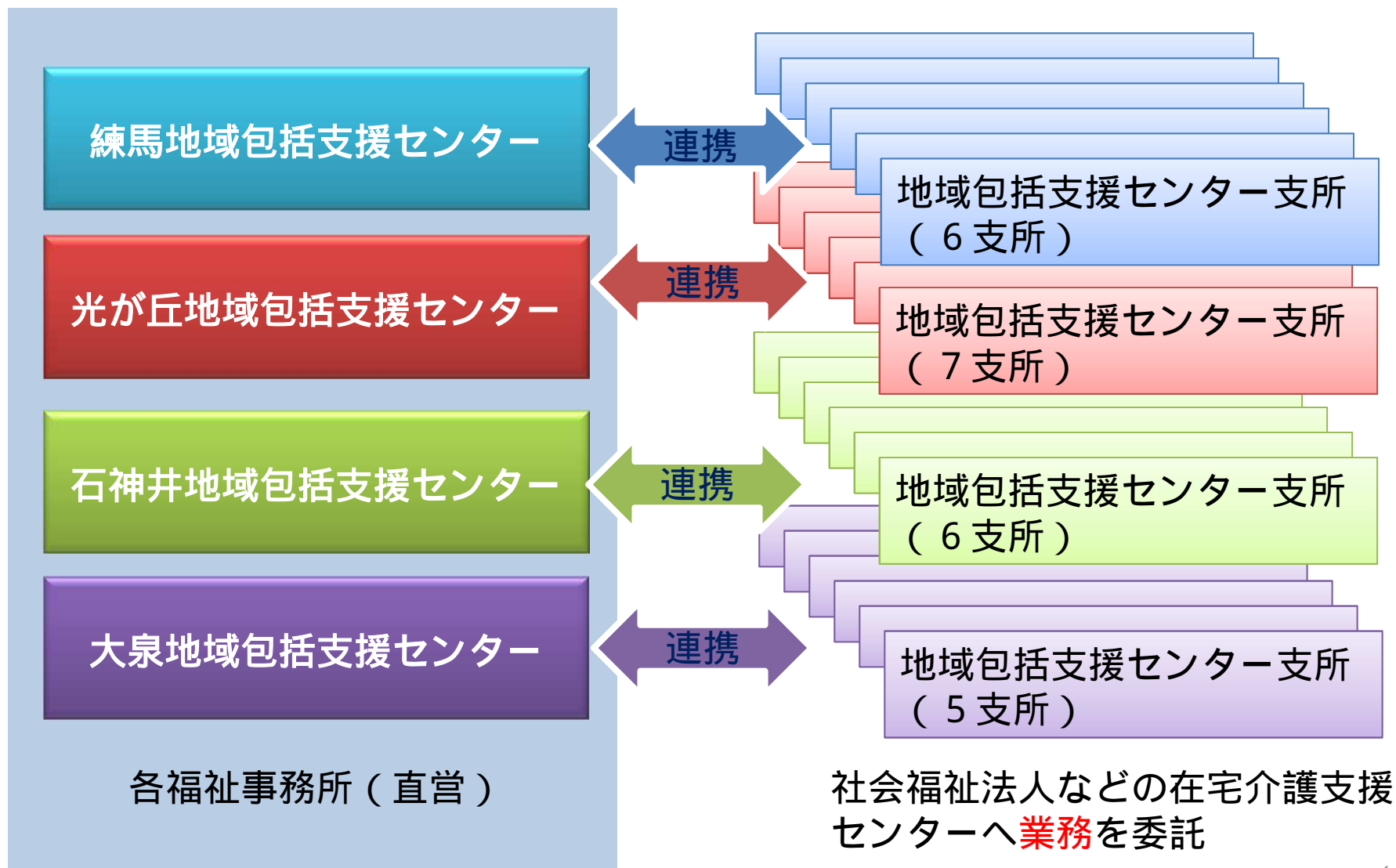
指定介護予防支援

要支援の方のケアマネジメント業務

その他

【支所】高齢者見守りネットワーク事業、よりあいひろば事業 等

練馬区の体制

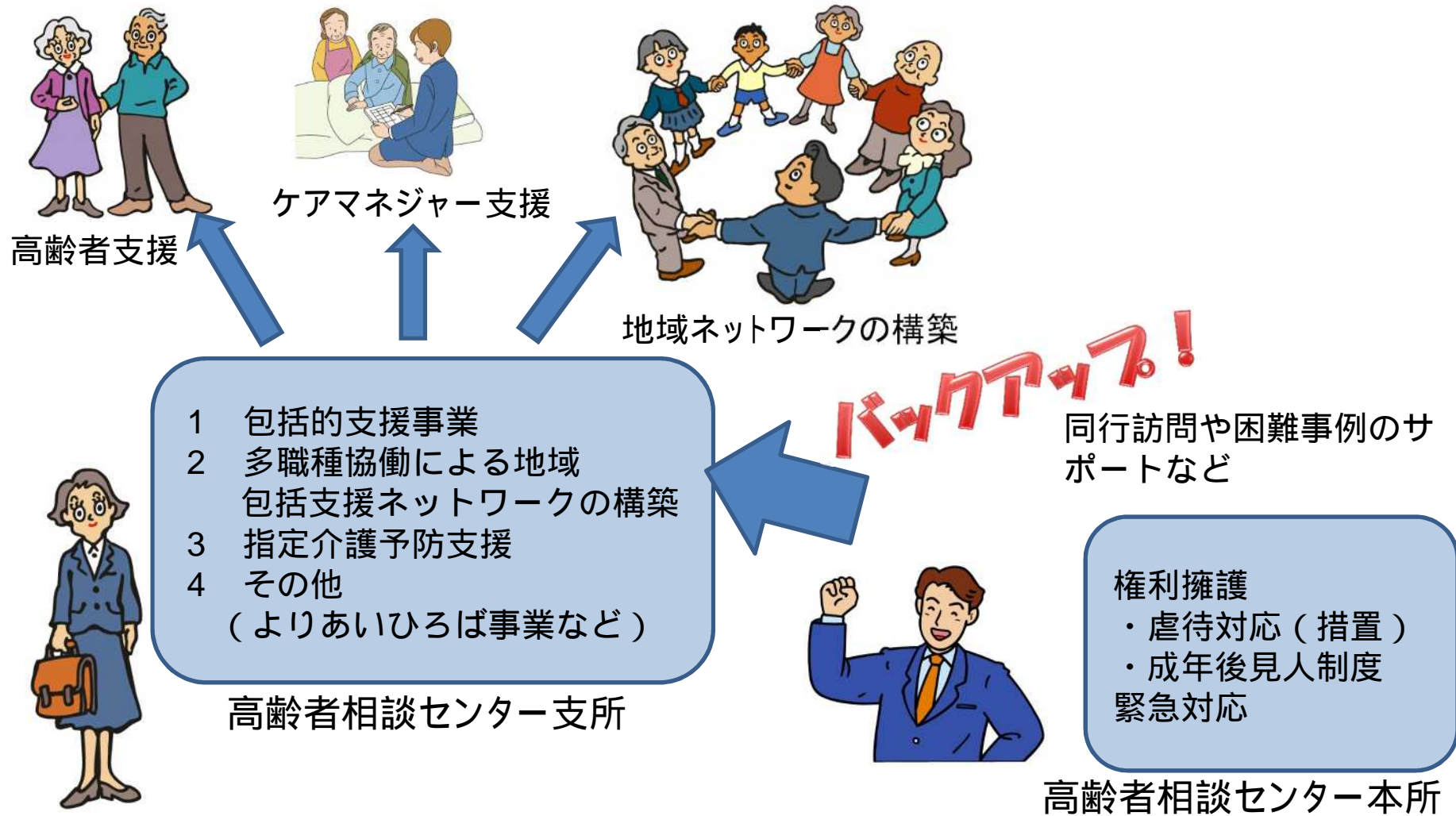


職員体制 (介護予防支援事業者の配置も含む)

	本所	支所
センター長	1人	
保健師 (経験のある看護師)	2人	3人 (福祉事務所の併設 支所は6人)
社会福祉士	2人	
主任介護支援専門員	1人	
介護支援専門員 (非常勤)	4人 (石神井のみ6人)	
その他	2人	1人 (在宅介護支援センター職員)

在宅介護支援センターの職員を含む

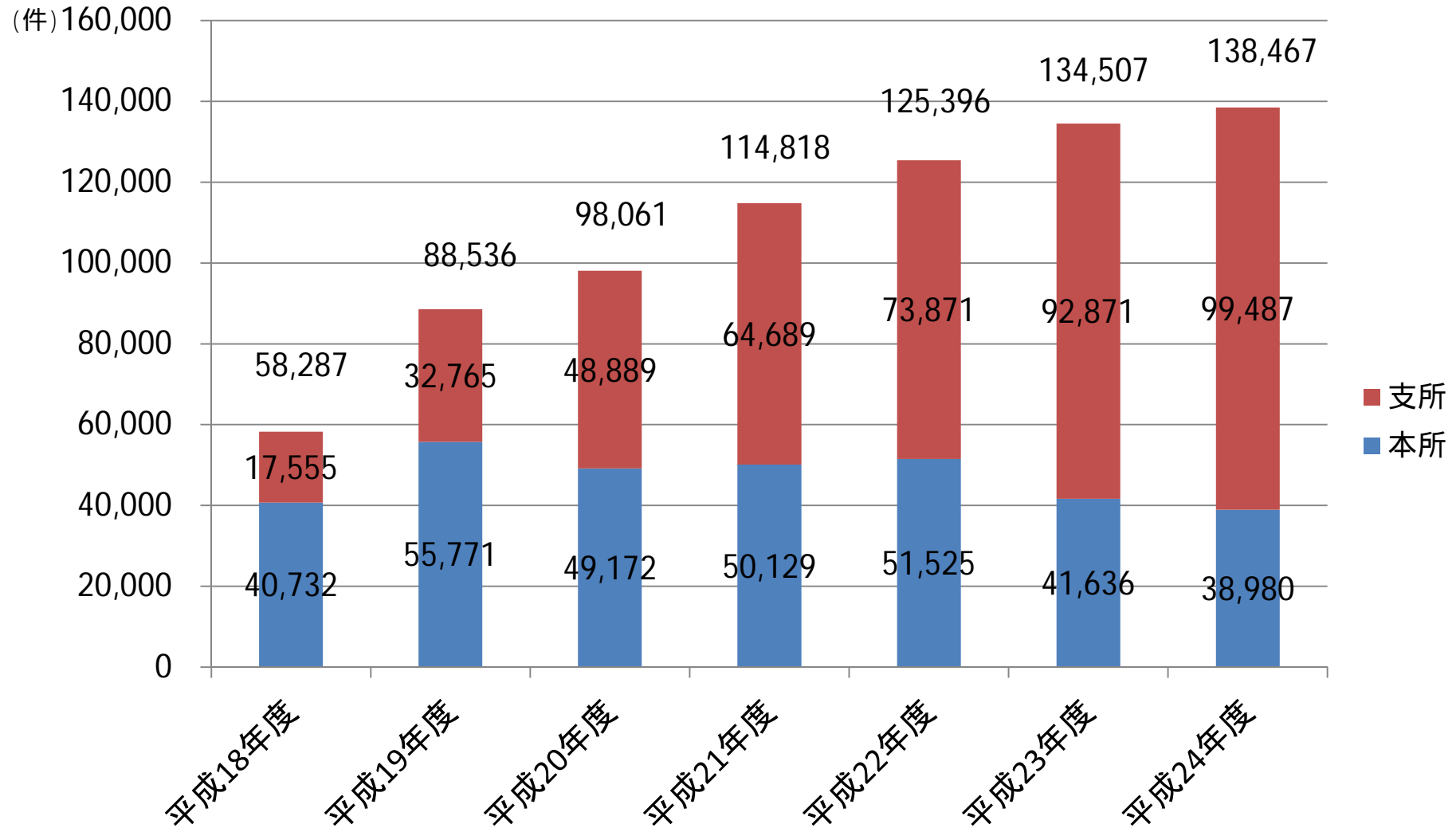
本所・支所の役割分担と連携



平成24年度 実績報告

実績報告(総合相談)

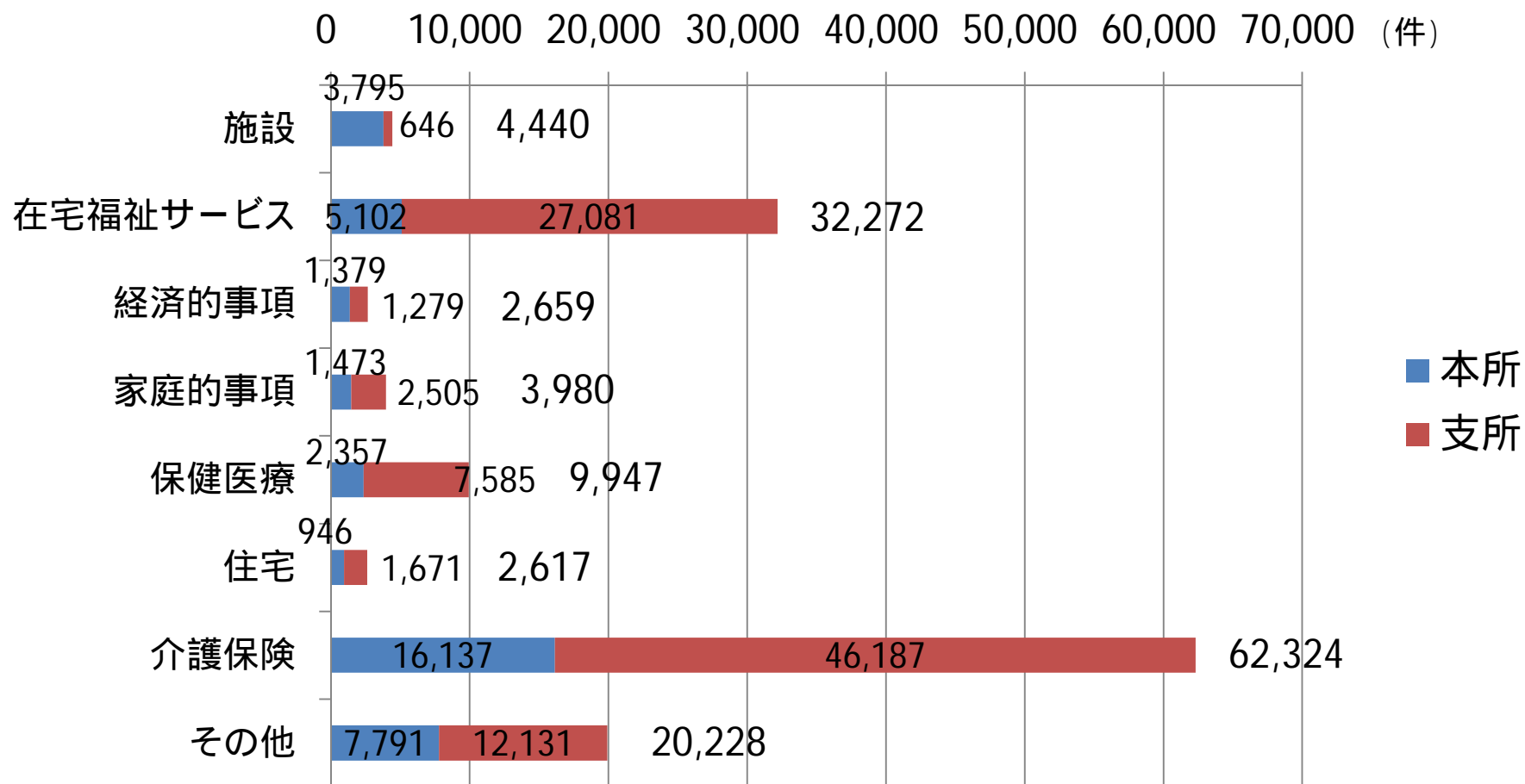
相談件数(述べ件数)



平成18年度は支所の設置はなく、在宅介護支援センター(ブランチ)としての相談件数

実績報告(総合相談)

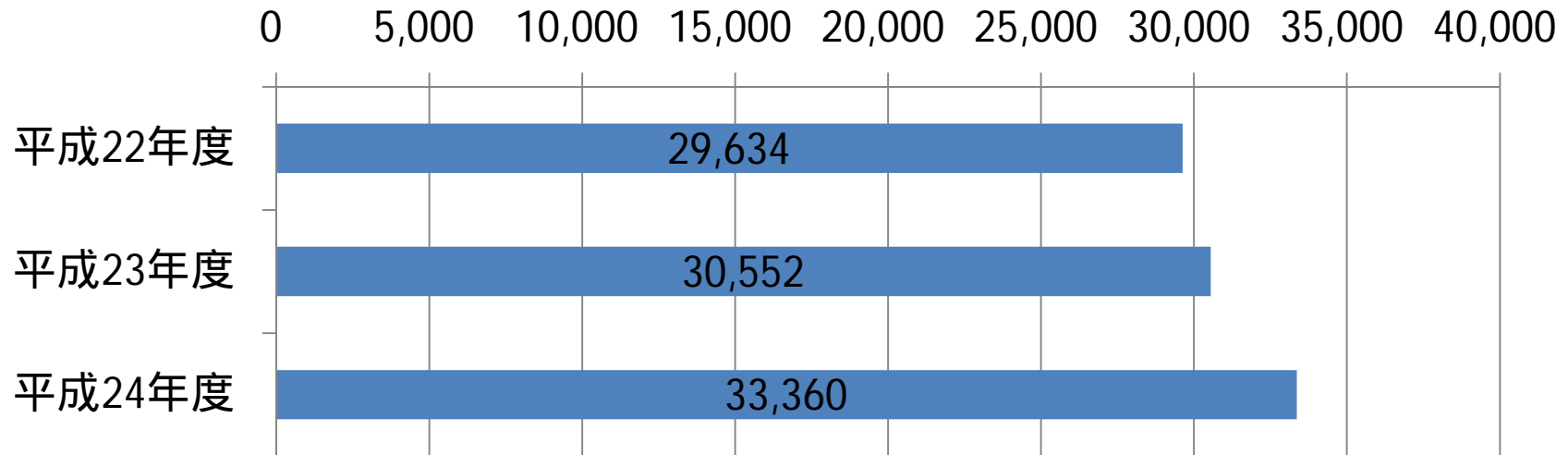
平成24年度 総合相談 内訳



実績報告(介護予防)

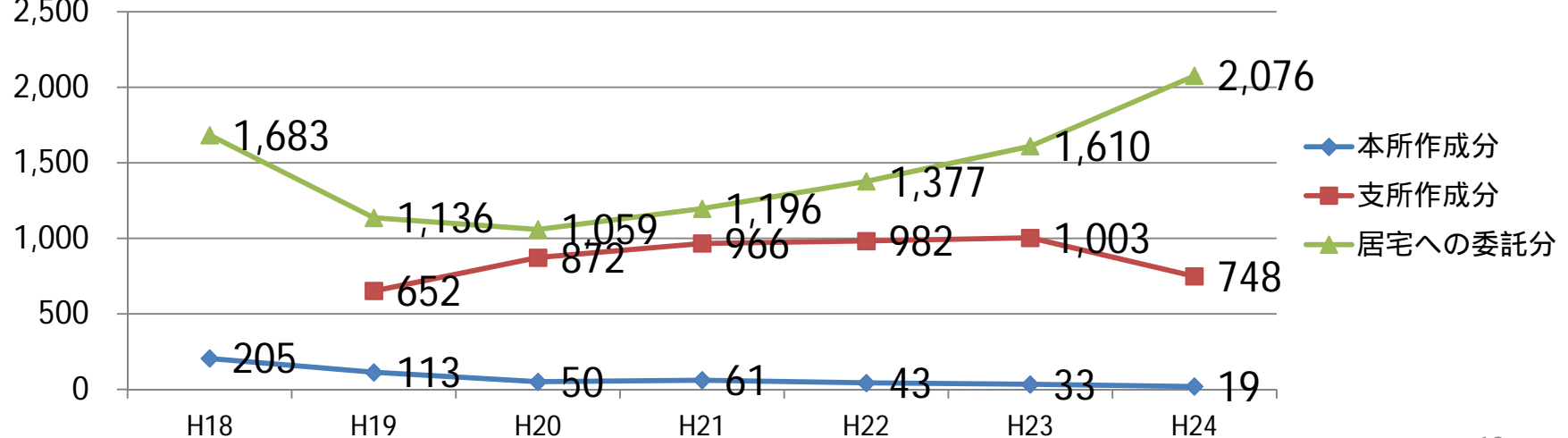
介護予防ケアプラン作成件数(延)

(件)



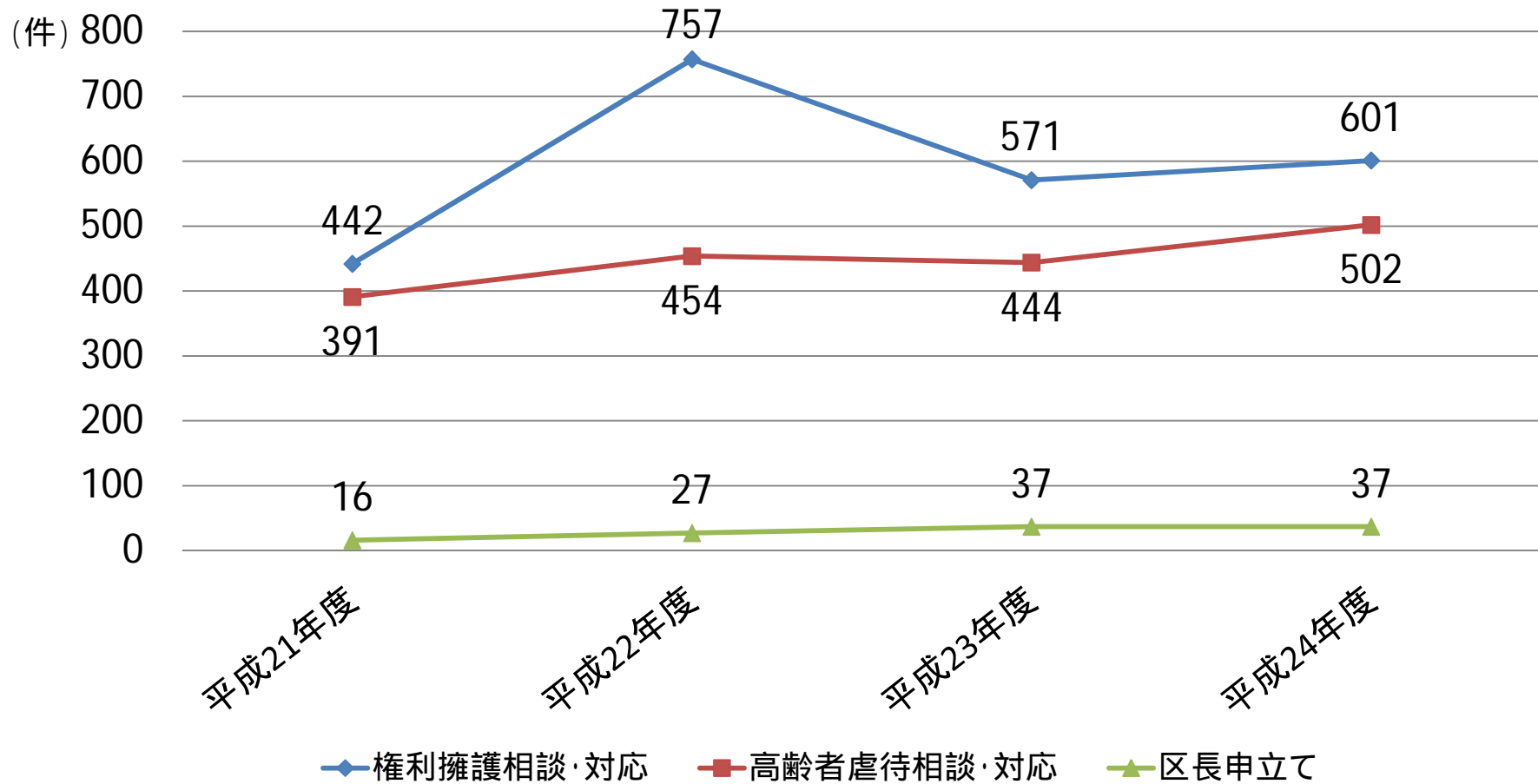
作成担当内訳(毎年3月分)

(件)



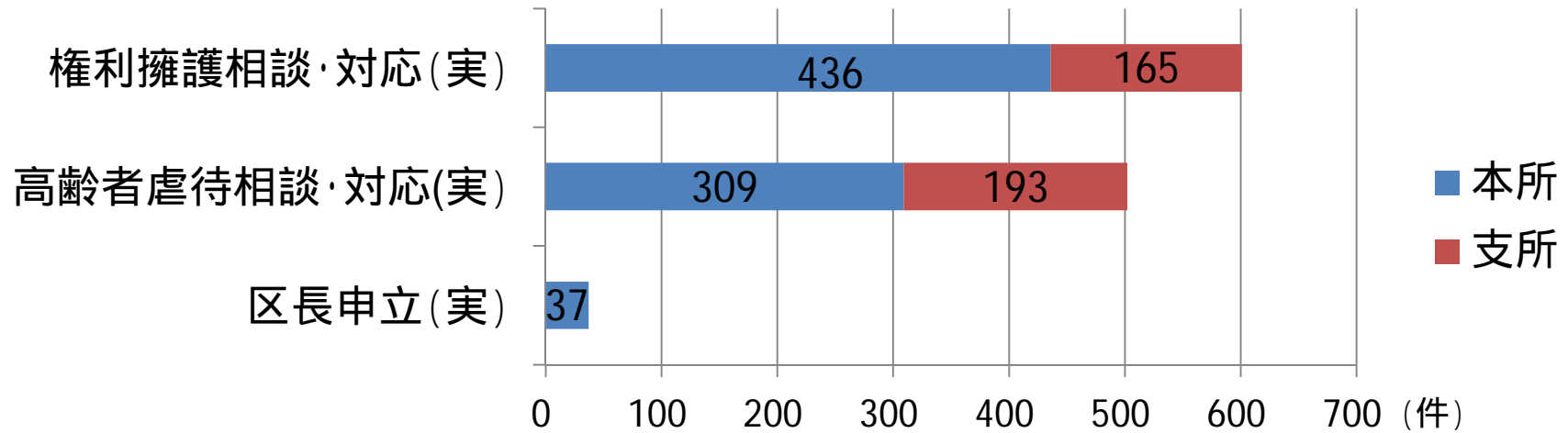
実績報告(権利擁護)

権利擁護・高齢者虐待・の相談・対応(実数)および
区長申立て(成年後見人制度)件数(実数)

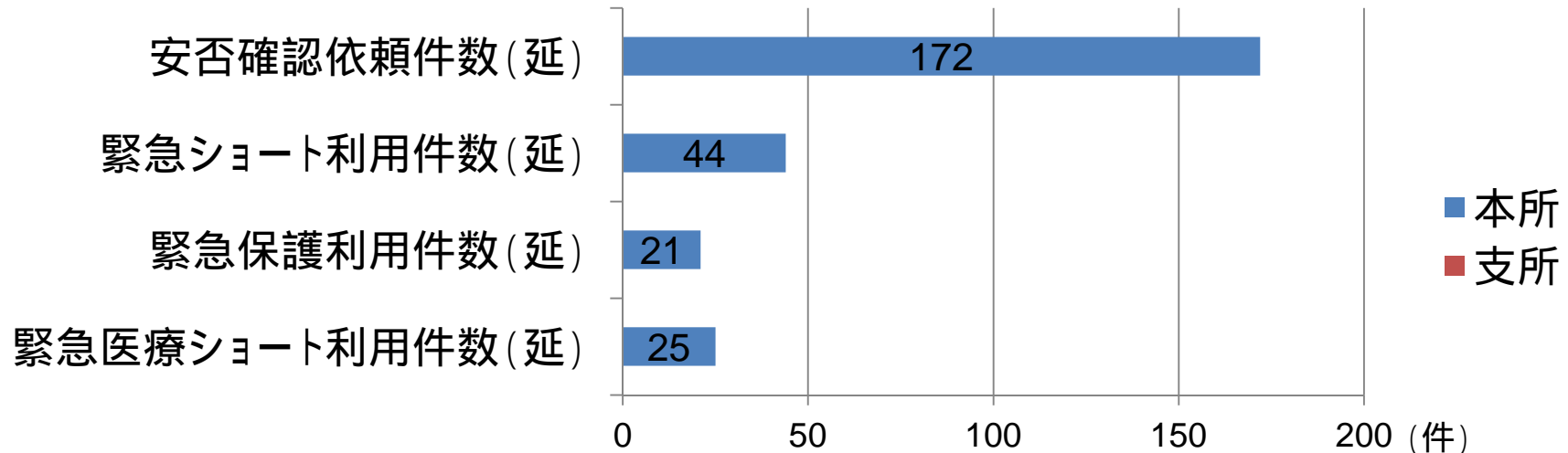


実績報告(権利擁護)

平成24年度 権利擁護相談 内訳

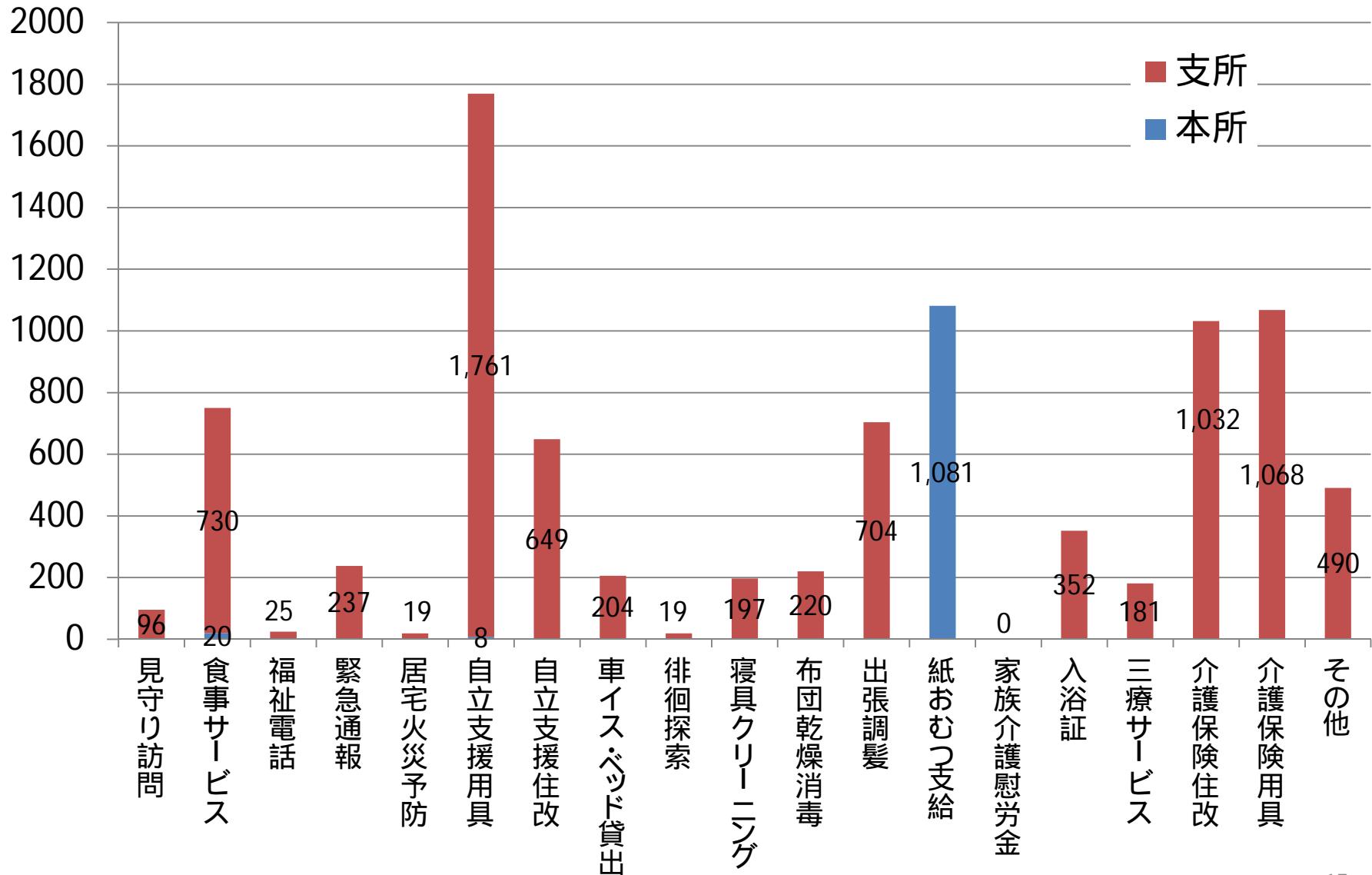


平成24年度 緊急対応 内訳



実績報告

(件) 平成24年度 申請受付 内訳



実績報告(会議等開催数)

会議名	目的・内容	本所	支所
地域ケア会議	包括的支援ネットワークの構築	6回	—
三二地域ケア会議	見守り協力機関、介護サービス事業者等含めたネットワークの構築	—	151回
よりあい広場	地域の高齢者を対象とした介護予防のための体操教室等	—	521回
見守り訪問員連絡会	見守り訪問員との情報交換等訪問員同士の交流	—	88回

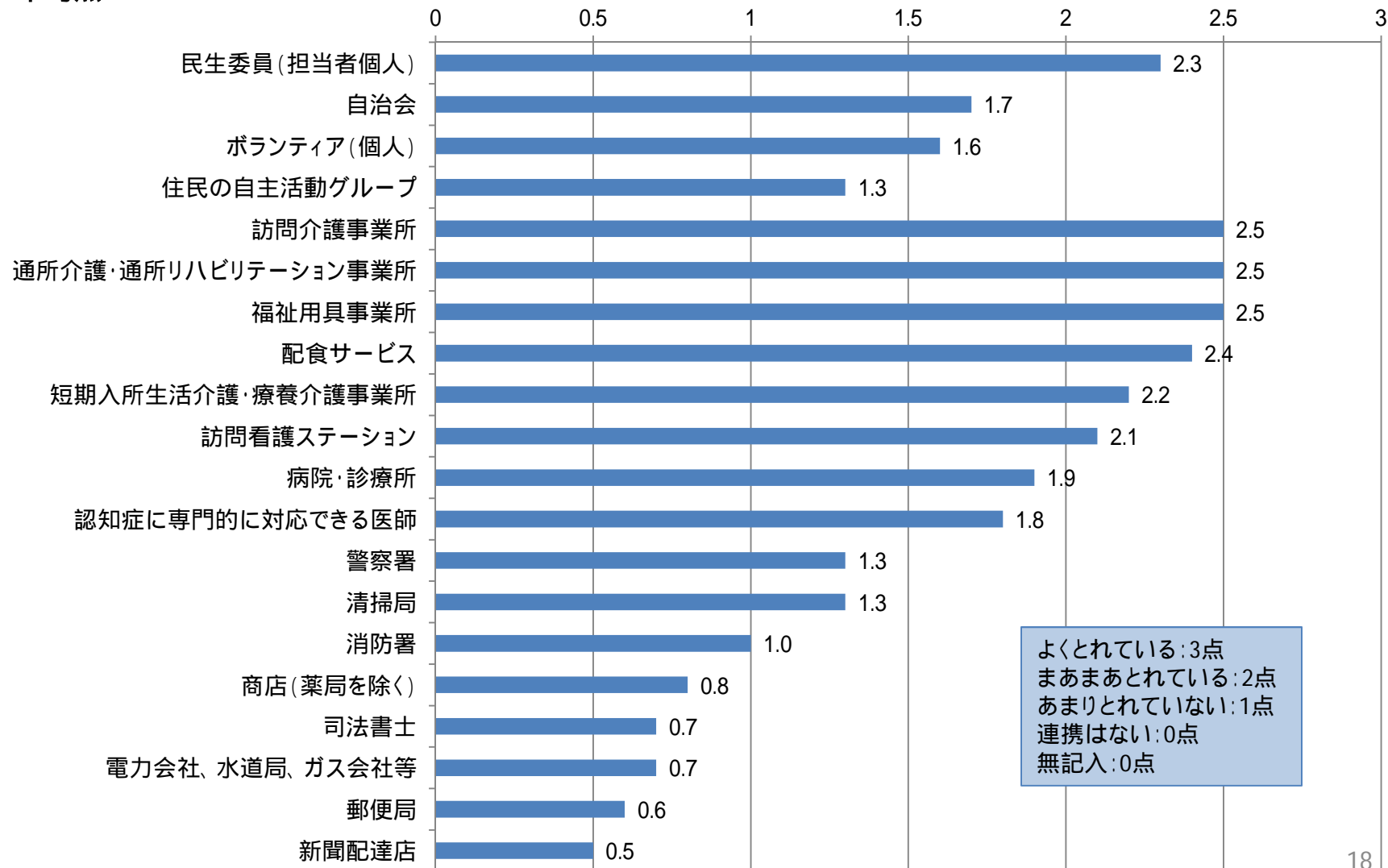
高齢者相談センター支所 アンケート

平成25年6月1日～6月14日

【包括的支援ネットワーク】 他の事業所や団体との連携の状況

平均点

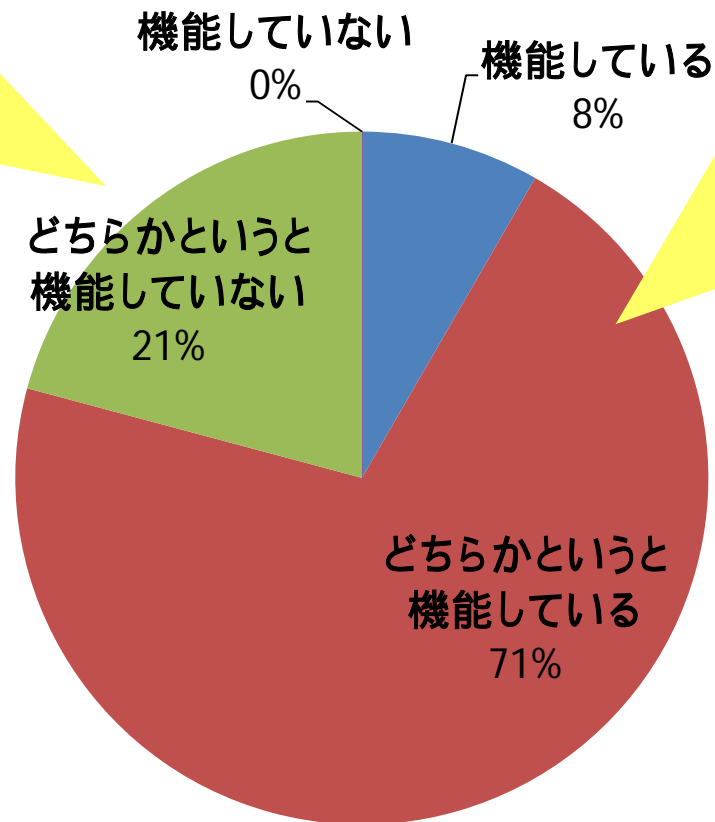
(点)



【地域包括支援ネットワーク】 ネットワークは機能しているか？

【機能していない・足りないネットワーク】

商店や警察等とのネットワークは不十分。
事業所や団体への働きかけのばらつきがある。
連携ができていないところは全くできていない。

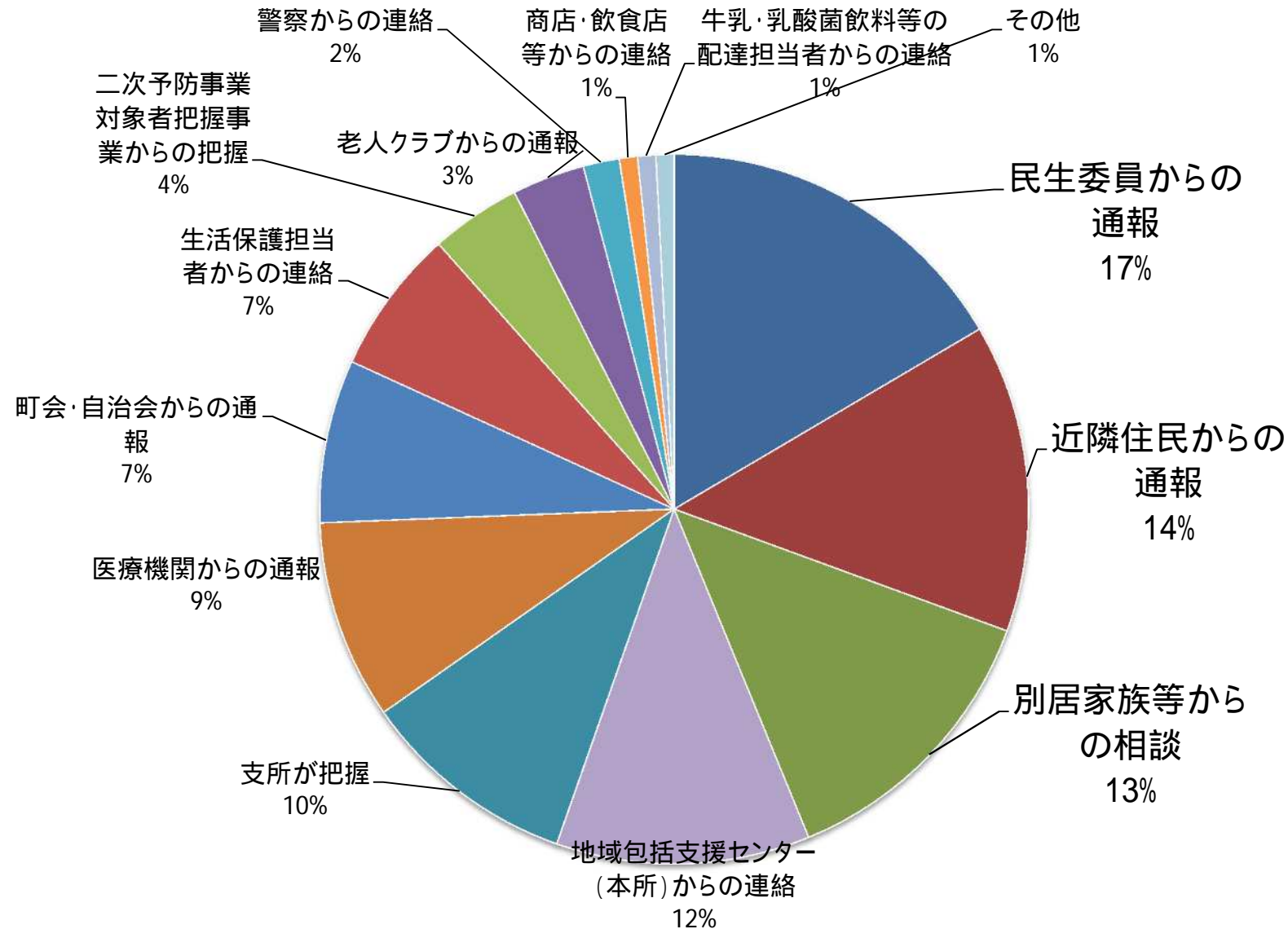


【機能している理由】

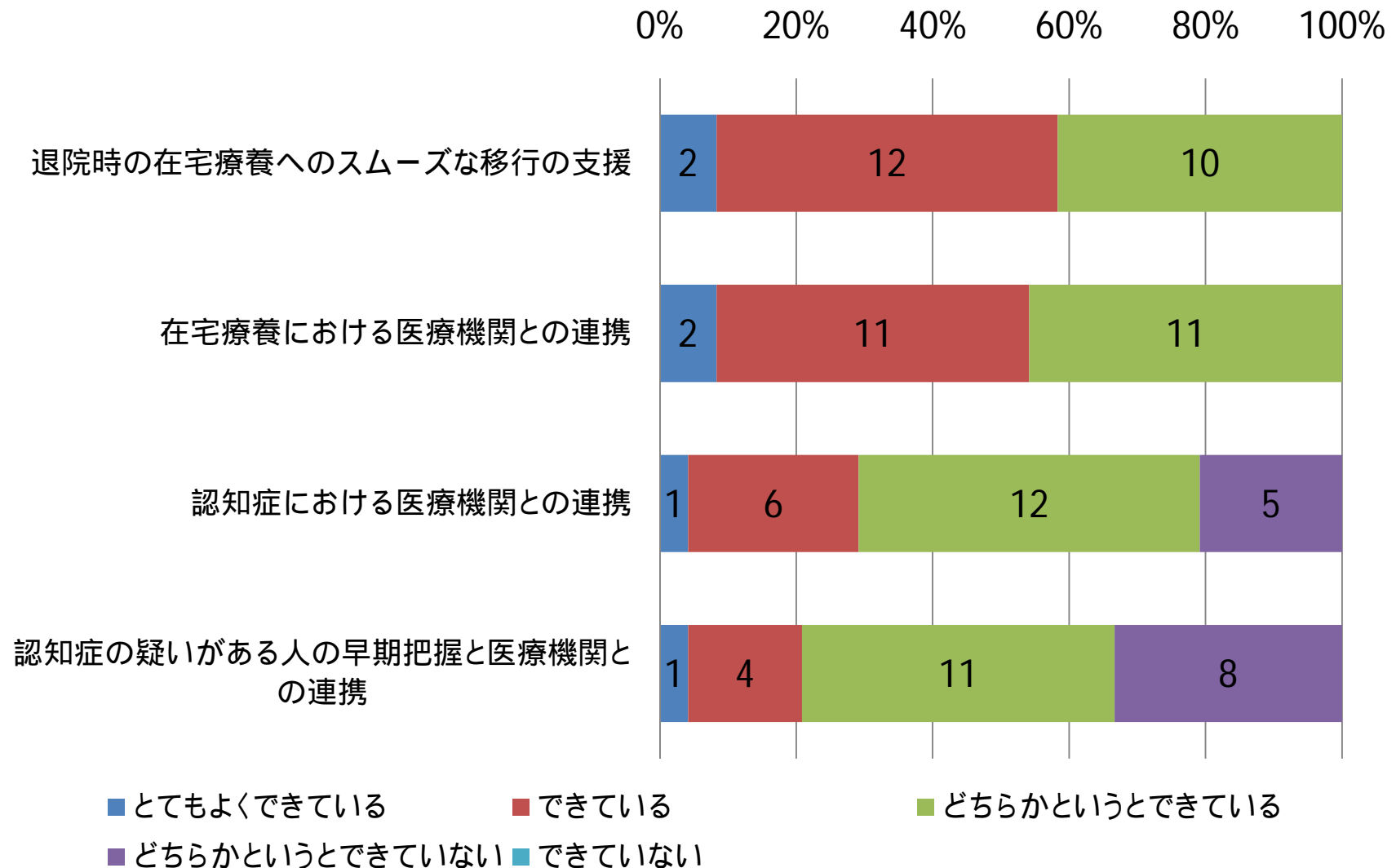
民生委員やボランティアなど地域住民との連携が図れている。
個別ケースを中心としたネットワークが図られている。
ミニ地域ケア会議を通じてネットワークを構築している。

【孤立高齢者】

孤立高齢者・閉じこもり高齢者の把握状況



【包括的・継続的マネジメント】 支所と医療との連携



【虐待対応】

虐待対応で困っていること

認識・理解・自覚
養護者自身の疾患等
養護者の支援

虐待者

虐待者の養護・共依存
気づかない（経済的虐待等）
認知症による判断力の低下

被虐待高齢者

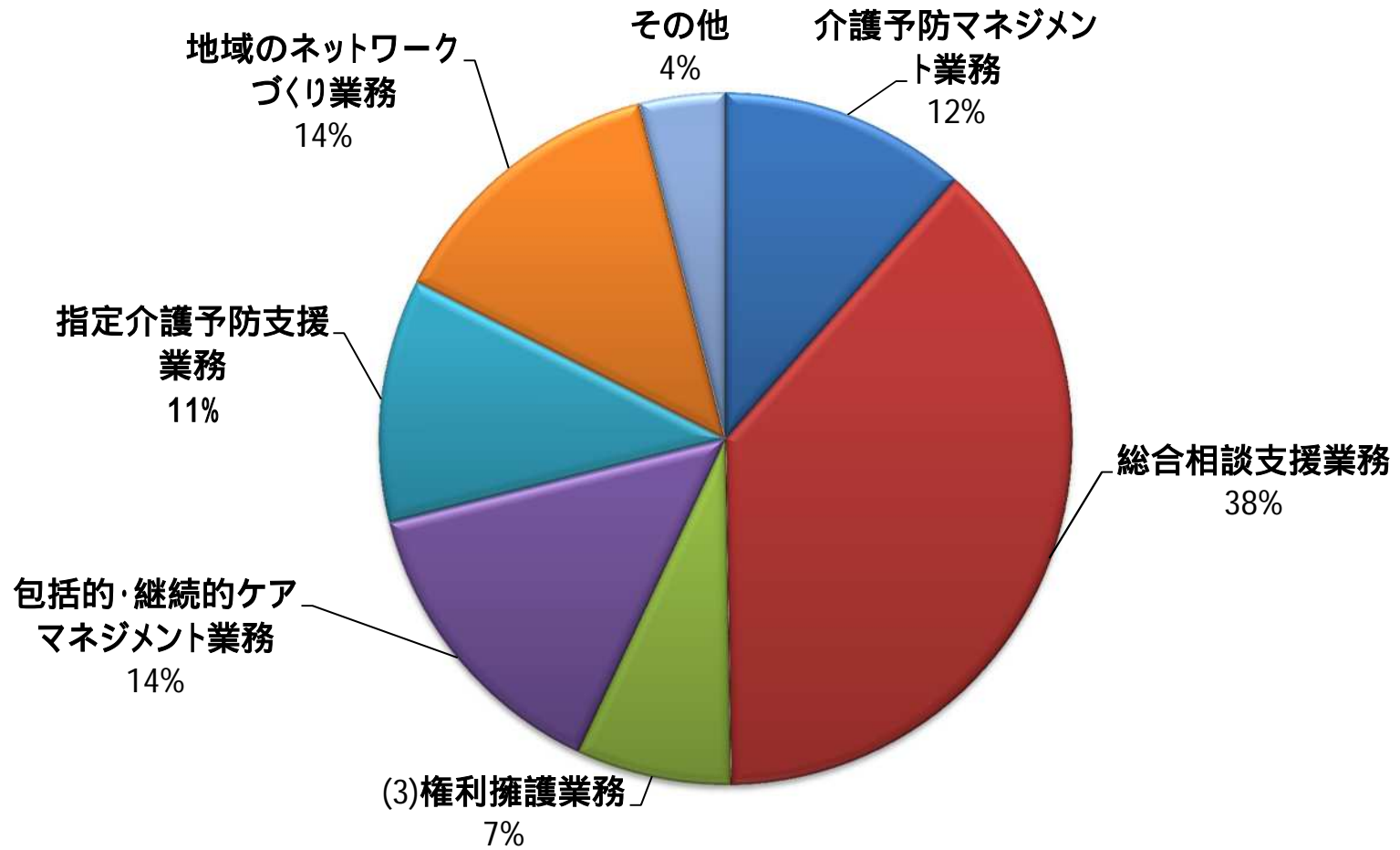
虐待に対する理解・認識のずれ
通報判断

ケアマネジャー・サービス担当者

複数対応・職員の対応能力
支所の職員数
対応能力の強化
本所・支所との連携

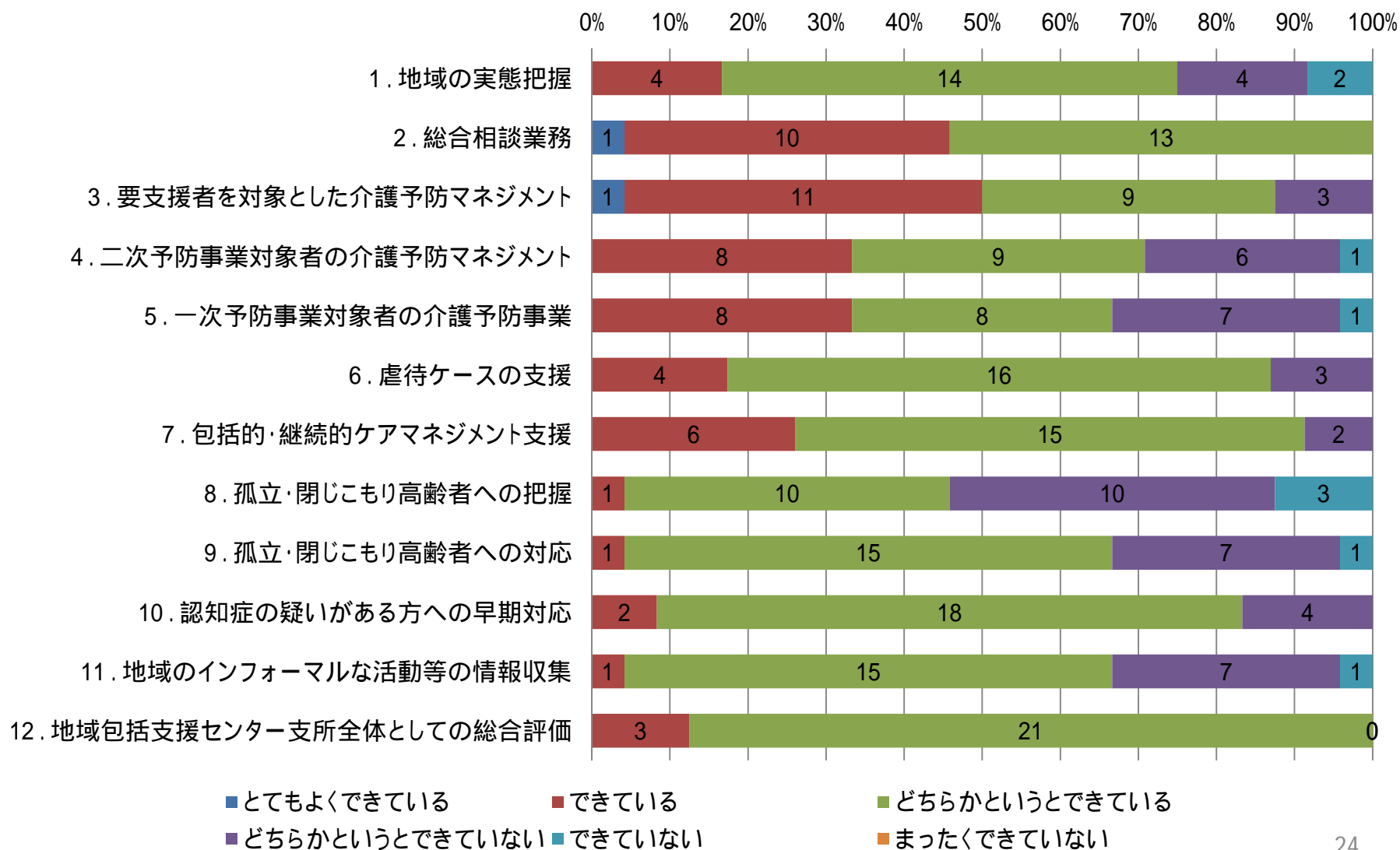
対応力・体制

【業務評価】 業務の割合(平均)



【業務評価】

業務ごとの評価



アンケートから明らかになった 高齢者相談センターの課題

- 高齢者の増加に伴い相談・対応件数が増加。3年間で権利擁護相談・対応が約1.4倍、高齢者虐待相談・対応が約1.3倍。
- 包括的支援ネットワークの構築におけるライフラインや警察・消防などとの連携。
- 地域のインフォーマル活動の情報収集、開発。
- 認知症の早期発見と医療機関連携。
- 虐待・権利擁護に対する理解、家族支援、対応力・体制。
- 孤立高齢者・閉じこもり高齢者の把握・支援。